



# 今、ここ

めがす子どもの姿 ~ やさしく かしく たくましく ~  
「合い言葉」 わたしが主人公、一人ひとりが主人公

令和3年6月1日 第3号  
銭座小学校 校長 丸山朋子

## 梅雨を迎えて、コロナ対応とともに

平年より20日も早く梅雨を迎えました。統計を取り始めてから2番目に早い梅雨入りとのこと。振り返ると、今年は桜の開花情報も3月半ばに届きました。季節の移り変わりが早まっているようです。

学校からは保護者の皆様に、豪雨時、さらに、新型コロナウイルス感染症にかかる対応レベルの引き上げによる様々な対策について、文書や一斉メールでたびたびお知らせ・お願いをさせていただきました。

運動会の延期や土曜授業の中止等の教育活動の見直しや変更をしながら、日々の感染予防対策に努め、教育活動を実施しているところです。

保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力に支えられて、子どもたちの学びをすすめることができています。いつも本当にありがとうございます。



### 主人公たちの姿「気づく、そして、考え、行動する」

#### ① 子どもから出てきた行動 ~「依頼」と「提案」~

ある日の昼休み、図書館で、低学年の児童に「校長先生、『のみのぴこ』っていう本と一緒に探してください。」と頼まれ、これに応えて一緒に探し始めましたが、見つかりません。

そこで、当番の仕事をしていた図書委員会の2人にも助けを求めました。快く応じてくれた2人が加わり、しばらく探しましたが、見つからず、そもそも、その本はあるのかな・と、思い始めていました。

すると、「校長先生、パソコンで検索してみたらどうですか。」と、図書委員会の2人から提案がありました。なるほどと思い調べてみると、「『これはのみのぴこ』あった、あった!」と、確かにその本は学校にあり、どうやら貸出し中かなと予想がつかしました。

このように「〇〇してくれませんか」と、依頼することや「〇〇してはどうでしょう」と何らかの課題や疑問の解決策を提案することなどの、「自分から考えて行動する過程を人と関わり合いながら体験すること」は、本が見つかる、もしくは見つからないという「結果」以上に、大切な学びであると思うのです。

学校はもちろん、日々の暮らしの中には「学びの種」が無数にあります。子どもたちの姿に刺激を受けながら、学びを促進させる大人のかかわりについて、改めて考えたところです。

#### ② 一人ひとりが作る素敵な学校



雨の日、午前7時40分過ぎの玄関付近は、子どもたちが広げる傘で、色彩豊かです。

校舎に入る前に、傘についた水滴を落とし、傘を丸め、傘立てに立ててくれる子どもたちがたくさんおり、雨の日であっても傘立てはとてもすっきりしています。マジックテープがうまく止まらず、苦勞する人も何とかしようと粘り強いです。

このひと手間が、玄関の景色を整え、下校するときに、互いの傘を取りやすくしています。

一人ひとりが、過ごしやすい学校づくりに貢献しているのです。

### ~子育て中のあなたへ~

親として、社会人として「何とかしないと」「もっとできるはずだ」と焦り、「うまくできない…」とご自分を責めてしまう方もいらっしゃるかもしれません。

本当に大変な中、いくつもの役割をもち、人一倍頑張っておられるのですから、心と体のお疲れが少しずつ生じてくるのは当然のことなのかもしれません。

お伝えしたいこと。

親である前に、社会人である前に、あなたも大事なかけがえのない。一人の人間です。

これまで、ご家族やご親戚、園や学校、コミュニティなど、みんなで行ってきた子育てです。完璧にできなくてもいいのです。どうか、ご自分を責めないでください。

あなた自身もケアされるべき存在なのだということを思い出してください。

この※リーフレットが皆さんがほっと一息つくきっかけになりますように ※インターネットで見ることができます。

国立成育医療センター  
こころの診察部  
からのメッセージ  
2020/05/13作成  
リーフレットから引用

